

平成30年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 中村 良

研究課題		<p>「情報と公正競争」 「アクティブラーニングの理論と実践方法の研究」</p>
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>1 「情報と公正競争」 小題「イギリス判例法にみる『営業秘密』の保護の研究」 イギリスにおける判例法上の「営業秘密」保護に関しては日本における研究は少ない(小野昌延『営業秘密の保護』1968年に一部検討がある程度である)。昨今の「営業秘密」保護に関する比較法は主としてアメリカ法である。アメリカ法における判例法の理解を深めるためにもイギリス判例法における「営業秘密」保護の歴史を検討する意義は大きいと考える。昨年より少しずつ始めた資料収集は、まだ不十分である。資料収集を進めながら判例分析を進めている。</p> <p>2 アクティブラーニングの理論と実践方法の研究 小題「企業不祥事事例を用いたアクティブラーニングの研究」 これまで、「法律」科目において「アクティブラーニング」を用いた授業方法の研究は、刑事法の領域(模擬裁判を用いるアクティブラーニング)、知的財産法領域における調査等の一部を除いて遅れている。「アクティブラーニング」の実施方法について検討を進めている。</p>
	研究成果	<p>1「情報と公正競争」 2018年度も2017年度に引き続きアメリカ法の母法となるイギリス判例法上の「営業秘密」の保護について検討を進めている。対象領域としては、ビジネス不法行為と言われる領域となる。今年度も資料収集を進めながら判例分析を進める予定である。</p> <p>2「アクティブラーニングの理論と実践方法の研究」 日本大学第三高等学校の社会科担当教諭より、法教育(企業不祥事や主権者教育等)の現状についてヒアリングした。高校生への調査等は相手校の都合で実施していない。2019年度実施する準備を進めている。</p>
研究業績	論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	なし。
	学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	<p>2018年10月7日開催日本政治法律学会第2回研究大会において「平成の民法改正と時効障害事由の変更ー中断・停止からの完成猶予・更新へ」城西大学松野民雄教授の報告に対してコメントーターとして討論した。</p> <p>2018年10月7日開催日本政治法律学会第2回研究大会においてまた、アクティブラーニング実践の一環として「憲法改正について」学生コンペを企画し、司会を務めた。</p>
	その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	なし。